# 福祉用具ヒヤリハット情報

Case: 410

## 階段昇降機の椅子への座り方が悪く、壁から突き出た梁に挟まれそうになる

### 場面の説明

いす式の階段昇降機で上階への移動中、背もたれよりも後方に頭を出してしまい、背もたれと梁の間に挟まれそうになる



二次元バーコード



#### 解説

昇降機は原則としてメーカーの施工基準にのっとって取り付けられますが、家屋側の形状によっては様々な危険 個所が考えられます。この例のような壁からの突起箇所のほか、階段のらせん部分での壁と膝の接触、立位で 乗る場合の天井などです。また、座位の安定や姿勢によっても挟まれやすい条件がありますので、個別のケース ごとに想定される危険に対する検討が必要です。

#### 参考要因

人:股関節が曲がりづらく、頭部が後方に倒れる座位姿勢だった モノ:背もたれが低く後ろにのけぞりやすい形状の椅子だった 環境:階段が狭く梁の突き出しと椅子の間に余裕を持てなかった

環境:梁の突き出しの解消ができていなかった

管理:施工基準に不適切な座位姿勢での利用の想定がなく、注意喚起をしていなかった